

平成27年度  
第2回朝日地域振興懇談会

会議録（概要）

期日：平成27年10月21日（水）

場所：鶴岡市朝日庁舎 大会議室

平成27年度 第2回 朝日地域審議会 会議録

- 日 時 : 平成27年10月21日(水) 9時30分から11時40分まで
- 会 場 : 鶴岡市朝日庁舎4階 大会議室
- 出席委員: 敬称略・五十音順  
安達文一、伊藤弘光、伊藤文一、井上時夫、工藤悦夫  
佐藤有男、帯刀とく子、松本壽太、山口弘美、渡部順子
- 欠席委員: 敬称略・五十音順  
五十嵐英紀、佐藤照子、渡部巖、渡部小枝、
- 市側出席職員  
【庁舎】朝日庁舎支所長、総務企画課長、市民福祉課長、産業課長、南部建設事務室長  
総務企画課職員  
【本所】企画部地域振興課地域振興専門員 地域振興課主任

一次 第一

1. 開 会
2. あいさつ
3. 報告
  - (1) 鶴岡市過疎地域自立促進計画の策定について
  - (2) 地域公共交通の現状と課題及び計画策定の取組みについて
4. 協 議
  - (1) 朝日地域の重点課題について
  - (2) その他
5. その他
6. 閉 会

## 1. 開 会 9時30分 (進行 総務企画課 工藤課長)

- ・ 出欠席の確認
- ・ 配布資料の確認

## 2. あいさつ

### ○会長

皆さんおはようございます。第2回目の地域振興懇談会ということで皆様方からはお忙しい中、集まっていたということ、感謝申し上げます。何分にも最近では農家ばかりやっておりますが、季節状況もあまりわからないままに生活しているものですから、今日湯ノ沢岳を見てずいぶん赤くなったのだなとそんな感じで、間もなく雪が降る時期になったと強く痛感しております。私もぽつぽつ雪囲いをし後片付けをしながら、温かいうちにやると楽だなと思いつつやっております。

今日は資料の説明もありましたとおり大きな2つの報告事項がこれからあるようでございます。何と云っても過疎地域、公共交通の問題は大きな問題だと感じております。自治会としても地域交通について何とか検証したいということで研修計画も立てておりますけれども、この2つについてはこれから本当にこの懇談会等でも議論しなければならないような議題ではないかと思っております。協議の方では朝日地域の課題ということで4つの課の課題が提案され、今日は皆さんから住民として率直なご意見を頂ける場だということでありますので、説明を受けながら皆さんのご意見をいっぱいいただければと思います。どの話題を見ましても、難しい課題ばかりのようでもありますので、その時その時の状況によっていい考え方も出てくるのではないかと思いますので、今日は十分皆様方からの率直なご意見をいただいて、予算も進められていると思いますので、出来るだけ予算化も可能な状況があれば対応していただけるよう、今日の会議が有効な会議になりますことを皆様方をお願いをしまして、一言挨拶とさせていただきます。今日はよろしくお願いをします。

### ○朝日庁舎支所長

皆さん、おはようございます。今日は第2回朝日地域振興懇談会を開催しましたところ、委員の皆様には何かとお忙しいところご出席を賜りまして誠にありがとうございます。先ほど会長からもありましたけれども、周辺の山々は紅葉も始まりまして彩の美しい季節となっております。農作業の方も春先から好天が続きまして、夏場は高温少雨であったために一部では水不足があったものの生育も順調に進みまして稲刈り作業もほぼ終了していると伺っております。作柄につきましては平年並みかやや良と伺っております。これからは特産であります庄内柿の収穫が本格化してまいります。農作業にあたりましては十分気を付けて取り組んでいただきたいと思いますところがございます。また、先月の台風18号15号では北関東から東北にかけて甚大な被害が発生しております。被災された皆様には心からお見舞いを申し上げたいと思います。当地域では幸いにも大きな被害はなかったわけですが、河川管理や避難対策等におきまして住民の安全安心を守るために通常の想定外のことまでも想定した対応をしていかなければならないと考えたところがございます。

今日は第2回目の地域振興懇談会ということでございますが、7月に開催されました第1回の会議では今年度の庁舎における主要事業の概要についてご説明を申し上げたところでございます。今回は次第にもございますが本所地域振興課から鶴岡市過疎地域自立促進計画の策定についてと総務企画課から地域公共交通の現状と課題及び計画策定の取り組みについての報告がございますし、

さらに朝日地域の重点課題についてと題しましてこれまでの事業の成果を検証しながら来年度予算要求に向け、地域課題や地域活性化全般に関する事項につきまして、担当課長室長が説明をしますので、委員の皆様からは忌憚のないご意見をいただきたいと思っております。なお、市では先般出されました平成28年度予算編成方針によりますと、普通会計の平成26年度の決算では実質収支で39億円を超える黒字となっておりますが、今後の歳入歳出状況を考えますと決して楽観できるものではないとしております。歳入におきましては最も大きな割合を占めます普通交付税について合併特例期間10年間で終わります28年度からは段階的に縮減されることとなりますし、このことが市の財政運営に大きな影響を与えると見込んでおります。ただ国では合併市町村の急激な歳入減を和らげるために交付税算定方法を見直しまして一定の配慮をするといっておりますけれども、現時点では不透明であり過大な期待はできないものとしております。一方歳出におきましては高齢化等による社会保障費にかかる経費の増加ですとか既存公共施設の老朽化に伴う修繕費等の増加も見込まれまして、また市長が掲げる鶴岡ルネサンス宣言に基づく中核的事業や人口減少対策の推進など市の重要課題への戦略的予算の適切に行っていくとしております。このような状況から歳入の増加が見込めない中では歳出抑制を図っていかなければならないとし、限られた財源を効率的効果的に配分するとしておりまして、一部を除いてでありますけれども一般財源ベースで27年度予算のマイナス4パーセントシーリングを実施することとしております。庁舎といたしましても6月から7月にかけて行われました地域住民懇談会ですとか自治会要望、PTA要望でご意見を承っておりますし、これからの皆様方の意見要望を踏まえながら、平成25年度に作成いたしました市の総合計画の後期基本計画、これにおける朝日地域振興計画に基づきまして事業を実施してまいりますし、今後も市民地域行政が力を合わせまして少子高齢化や農業情勢の変化等社会の変化に対応して課題解決に向け施策を展開していかなければならないと考えております。委員の皆様から頂いたご意見を今後の施策に反映させまして課題の解決に向け一歩ずつ前進してまいりたいと考えておりますので、皆様にはこれからご苦勞をおかけいたしますがよろしくお願い申し上げます。本日はよろしくお願いいたします。

### 3. 報告

- (1) 鶴岡市過疎地域自立促進計画の策定について
- (2) 地域公共交通の現状と課題及び計画策定の取組みについて

#### ○総務企画課長

それでは3の報告に入りたいと思います。

- (1) 鶴岡市過疎地域自立促進計画の策定について、地域振興課小野寺より説明いたします。

説明 資料1 一略一

#### ○総務企画課長

ただ今の説明に対しましてご意見ご質問等ございましたらよろしくお願ひします。

なければ後ほどもまたお話しする機会もあるかと思ひますけれども、のちほどの時間の中でも話を出していただければと思ひます。つきまして(2)地域公共交通の現状と課題及び計画策定の取組みについて、総務企画課亀井より説明いたします。

説明 資料2 一略一

○総務企画課長

ただ今亀井の方から説明ございましたけれども、何か聞きたい点等ございましたらお願いしたいと思ひます。資料が膨大で読み切れなひところもあるかと思ひますけれども、何かありましたら後ほど出していただければと思ひます。

4. 協 議

○総務企画課長

つづきまして4.協議に入りたいと思ひます。協議の議長は安達会長にお願いしたいと思ひます。

なお、本日の予定ですけれども、午後から福祉のつどひがあるということですので11時30分を目途に閉会ということですのでよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは安達会長よろしくお願ひいたします。

○会長

それでは協議についての進行をさせていただきます。皆さんに資料3の重点課題ということで配布されておりますけれども、この部分について時間もあまりないということでもありますので、4つの課・室それぞれ5分程度で概略の説明をお願いしたいと思ひます。

資料に基づいて総務企画課から順次説明をお願いしたいと思ひます。

(1) 朝日地域の重点課題について

説明： 総務企画課長

市民福祉課長

産業課長

南部建設事務室長

○会長

はい、ありがとうございました。概ね残り1時間位あるようでございますので、先ほど報告事項2件ほどありました。それからそれぞれの課の課題事業について、来年度の考え方いろいろお話をされたわけですけれども、ここから皆様方からのご質問ご意見をいただきたいと思ひます。委員の皆様方にはそれぞれの立場で今日ここに委員として参加されておりますので、特に自分のかかわっている立場の部分については積極的にご意見をいただければありがたいと思ひます。それでは質問ご意見のある方は挙手で提案をお願いしたいと思ひます。

○委員

時間も1時間ということで短めに話したいと思ひます。

企画の方の(2)地域おこし協力隊設置事業についてですが、大鳥に地域おこし協力隊が3年で終わりになろうとしております。9月中には自治会長を集めてお話をしたい、10月には集めてお話をしたいということですのでけれども、未だにその報告は受けておりません。噂によりますともう少しここで暮らしたいようであります。

これから言いたいのは、彼らをどうしても大鳥から、朝日地域から放したくはない。彼らに出て

行かれるとわれわれ片足をもがれたようになってますます過疎化につながるのが心配であります。どうすれば地域で彼らに残って住んでもらうようにできるのか。地域内で若干噂になっているのですが、大鳥では指定管理で事業をやっている大鳥自然の家、タキタロウ館の2つがあります。自然の家もタキタロウ館もそろそろ限界にきているときであり、そこを彼らの拠点として彼らに任せていいのではないかという話がちらほら聞こえてみたりというのが昨今の状況です。だからといって我々の力では何ともならないというのがあります。これはぜひ行政側からの指導の下で、できれば自然の家を彼らに運営をしていただければ将来的にはいいのではないかと。タキタロウ館もそうですし、彼らも結婚したら奥さんはタキタロウ館で働かせてとかそういうやり方がいいのではないかと話題になっておりますので、今のようなことを行政側でも風向きを今までと変えてもらって、彼らが何とか定住できるような対策を取ってもらいたいということでもよろしくお願いをします。

#### ○会長

はい、それでは協力隊の関係が出ましたので、もし関連するようなご意見とかそういったものがございましたら併せて考え方を行政からお聞きしたいと思っておりますけれども、この件に関してもっとほかにも考えているようなことはありますか。

#### ○委員

たぶん関連しているのではないかと思いますのですけれども、大網の方も担い手、何に関しても担い手がいない家庭が多いのではないかと思います。農業にしても主婦にしても自営業にしてもいろいろな面で担い手という言葉は出ます。それが不足だと、結局、過疎化限界集落テレビではないけれども、都会の方からコンサルが来て限界集落を盛り上げるというドラマを皆さん見たことがあると思いますが、この大網地区も内陸からの出入口になるわけで、その地域をなくす訳にはいかないので、何か企業があった方がいいのではないかと、協力隊や企業があれば、若い人が結婚して奥さんがその企業に勤めるというイメージです。私は2、3年前前から産直グーや地域、役場にも言っていますけれども、缶詰工場の設置を希望したいのです。缶詰工場というと、朝日だと春と秋の山菜きのこしかないのではというイメージだと思いますが、考えればいくらでも発想できるのではないかと思います。乾燥ものや衣類、菓子とか、お菓子の中でも砂糖菓子とかゼン、乾パンなど、地球にいろいろな出来事が起こっていますけれども、非常事態に備えて缶詰というような考えも出てきてもいいのではないかとイメージでいるのですが、なかなか自分一人ではできません。何か大網地区で昔からやっているということで、私個人で代表になって一人仕事なのですが、ぶどうの葉っぱのもちということで、大網ことばで「ぶどっ葉もち」といって、嫁ぎ先のおばあちゃんから聞いて、一から昔のやり方でやっていて、何か自分で開発できるものがないかと何年か前に思っています。これで出発しています。この朝日を好きだから、大網を好きだからという気持ちで取り組まないと継続はしない、まずは担い手を大事にするためには何か企業を設けた方がいいのではないかと、みんなで大手から吸い取られている状況なので、何かをやったらということです。

#### ○会長

今二人の方からそれぞれ高齢化にとっての若者が不足したその中でのこれからの考え方ということで、協力隊と合わせたような前向きなご意見がございました。ここで一回行政の方に渡して話をされた2つについて、総務企画課長、産業課長から、どちらにも関係あるようです。

### ○産業課長

地域おこし協力隊を地元の指定管理の施設にということですが、タキタロウ館について申し上げます。タキタロウ館の指定管理者は大鳥タキタロウ村組合です。組合の中で十分話し合っていて、大鳥自然の家も村づくり協議会がありますので、その中で雇用するののかどのような活用があるのかということの協議が第一優先と考えます。

担い手、缶詰工場のような地域に根差した工場があれば地域の活性化につながっていくのではないかと企業誘致の観点からお答えさせていただきたいと思います。企業誘致については、旧朝日村時代からいろいろございました。朝日ニットが第1号、その後朝日村で産業団地を東岩本・立岩に造成してアサヒニイズマといった経緯がございます。合併後は主管が商工課に移りまして、これまでも産業団地にぜひ工場を構えたいということで、産業課を通じて2、3件話がありましたが、いかんせん雪の問題が非常にネックになりまして、結果としては全てがおじゃんとなった経過がございます。そうした中で大網地区限定というお話になってまいりますと、これも容易でない、朝日地域の中に工場があって、大網から落合、立岩でも、近隣の櫛引地域からでも通勤可能な広範囲で誘致活動をやっていないと、なかなか相手企業も乗ってくれないというのが商工課考え方だったと伺っております。かつては大泉にもなめこの缶詰工場がございました。その後、ワインの生産工場に代わって缶詰工場もなくなったわけではございますけれども、今のお話は重要なことだと考えてございます。商工課の企業誘致の担当者の会議もございますの、職種限定の企業誘致もどうかということで市役所内での話題にもさせていただきたいと思います。ご提案ありがとうございました。

### ○総務企画課長

ただ今産業課長からもありましたとおり、一義的にはその委託、指定管理している団体の話し合いの中での雇用になるかと思えます。彼らは来年残ってくれそうな雰囲気だということで、今のうちから来年の生活設計、いくらお金が来年はとれるのか、山で取れるもの、自然の家で働いて取れるもの等いろいろ計算をしているようです。ある程度自然に親しみながら、自営といいますか生活できるレベルのお金とか自分の楽しみといったものを両立したいという考え方のようですので、そのあたりは2人の希望を、話し合いをしながら進めていければと思います。答えになりませんがともよろしく願います。

### ○委員

今、課長が言ったとおり、彼らはみっちり会社勤めをしたくて来ているわけではないので、そのへんも十分わかりながら、たとえば自然の家で2人で交互に1週間交代でもいいわけで、そういったやり方で少しでも生活できる仕事を与えてやらないと、将来的には難しいのかなと。なかなか我々だけでは難しいところがあるので行政の力を借りながらと思っていたところで

### ○会長

はい、今の話を聞くとわかるのは、これは地元のことから地元で考えればいいと投げられてしまうと、そこでストップしてしまうのではないかとということで、行政としてどの範囲までであれば自立を図るために指導ができるのか、周りの状況も行政であればわかるからそういうものを十分入れながら、自立できるような指導をどの範囲までできるのか、その辺を少し検討していただい

たいということだと思うので、これは大鳥のことだからとはいわず、少し過疎地域の課題として自立を図れるいい方策を、どの範囲で行政が指導できるのかそこを検討してもらった方がいいのではないかと思います。そうすれば大鳥の人も大網の人たちも安心して、少しでも前向きに取り組めるのではないかと思います。これは大網で考えてもらえばいいのだということになるとなかなか難しいものがあるのかなと、ちょっと感じたので付け加えさせていただきました。

次に別の話題でも結構ですので、何かご意見ある方、挙手でお願いしたいと思います。

#### ○委員

おはようございます。今の協力隊の話で、先程またやりたいような話でありましたが、具体的な例があれば教えていただきたい。今年度で大網小学校が廃校になるわけで、その後の跡地利用ということで話が出たようですが、実際はまだそこまで話が行っていないところで、我々としては自分たちで始めなければならないのか、いつまでこうするというのを教えてもらわないとなかなか始められなくっている。なるべく早く、終わってからではかなり時間的に短くなると思うし、今であれば3月までは5か月ぐらいあるので、なるべく早く教えてほしいと思います。今何かあれば説明をお願いします。

#### ○総務企画課長

「小さな拠点」の動きですが、前々から話していたと思いますけれども、大網小学校の閉校行事が終わるまでは具体的な話をするのは無理かなということで、この前終わりましたので、なるべく早く集落自治会長、自治振興会を中心として、こちらの方から具体的な提案といいますか流れを説明する機会を設けていきたいと考えております。今までは行事が終わるまでストップしていたところが現実でございます。

協力隊の具体的な役割ですが、当初朝日地域では具体的な目的はなく協力隊2名を大鳥に配置しましたがけれども、温海地域はそれぞれ目的がありまして、福栄地区で話し合いをする中で、福祉の分野とか情報発信の分野とか、その集落が足りないと感じている、こういったものの機能を誰かやってくれればという具体的なミッションを設定し、今3名の隊員が活動しております。今後朝日に協力隊を置くとした場合ですけれども、温海方式にするかどうかはわかりませんが、その地域で何をしてほしいか、こういった課題があってそれに向かって対応してほしいとか、ただ来てもらって何かお願いするという形では考えていないところです。何か目的を持った形でこれをしてもらえればということを集落の中で検討してもらいながら配置について検討をしていきたいと考えております。

#### ○委員

鶴岡村上線ということだけれども、スーパー林道部分も含んでの話ですか。何年も通れないような状況で今年は通っていたのかいないのか、今行ってみても看板が行けるのか行けないのかわからない状況で表示しているようだが、今は通れるのか。

#### ○南部建設事務室長

はい、今は通れます。もうすぐ雪のシーズンに入ってまた閉鎖になりますけれども通れます。



## ○委員

今日いろいろ話を聞いていると人口減をどうするかというようですが、新しく増やすことも考えなければならぬと思うけれども、今いる人を減らさないことも大事なことだと思います。これから老人が多くなるのが避けられないことだけれども、老人施設を多く作ってただ入れるだけではなくて、元気で暮らして社会のために働いてもらうことが大事だろうと思います。

65歳が生産年齢だということであれば、これを74、5歳まで伸ばしていかなければならないのではないかと思うけれども、先日、産直組合の組合員集会がありまして、夜の集まりにもかかわらず80歳前後の方が4、5人来てくれました。会議が始まる前の雑談の中でこんな話が出ていました。近くに変な快適そうな老人施設ができたので、そこで働いている人に「私の国民年金月6万何千円で入られるか」と聞いてみたところ、とても無理だ、十何万は掛かるといわれた。だから私は産直にもものを出すことを生きがいとびんぴんころり頑張るしかないと笑っていました。会議の中でも別の方が、産直は経営が容易でなくて借金があるけれども、私はここにもものが出されるのが本当にありがたい、毎日少しずつだけれども売れるのが楽しいので産直をつぶさないでほしい。借金はみんなで一人月千円でも2千円でも貯金して返させてほしい。そのような協力はするので産直は続けてほしいという意見が出ていました。みんなが大切に思っているということが伝わってきました。

そこで、前回の会議資料の朝日庁舎の予算7ページから8ページにかけて、産業課のところに博物館管理運営事業があるけれども、産直に関してはほとんど載っていないようです。博物館はそれ専用で建てた施設だろうけれども、産直というのは古いお化け屋敷みたいなホテルを手直しして与えてもらったもので、修理しなければならないところが少なからずあるし、ランニングコストが冷暖房修繕費含めると年間600万くらいかかるわけで、そのへんを見直していかないとなかなか黒字化が容易でないと思っています。今までは農家支援ということで考え方があったかもしれないけれども、これからは元気な老人支援という観点から見てほしい。元気な老人作り、びんぴんころり支援ということでやってほしいと思います。

もう一つは古い学校の話だけれども、廃校後、若者が定着するかはまた別としても、ベンチャー企業をやりたいという人で、場所とかに困っている人がいれば全国から募集してみて、大きく当たらずとも小さく当たって数人でも働けるような場所ができたなら良しとしてやってみたらどうだろうかと思っています。鶴岡市でもクモの糸が大当たりしそうなので大変いいなと思っているので、大きく外れるかもわからないけれども、そういうものを募集してはどうだろうかと思っています。

## ○安達会長

はい、関係あるところは産業課と福祉課に話が及んでいるようですけれども、何か行政として考え方があれば。

## ○産業課長

産業課の関係ということで、月山あさひ博物館には支援が具体的にあり、グーには支援がないのはなぜかというようなご質問をいただきました。もう一点はグーの施設修繕の関係もぜひとも手立てをお願いしたいと、この2点でお話をしたいと思います。

行政財産、公の施設、月山あさひ博物館の場合は利用料金制度というものを採っております。そこで条例で定めた入館料や施設使用料を指定管理者の収入として得られるというものでございます。これによって賄うのが利用料金制度でございます。ところが博物館の場合は収益事業と公益事業に分か

れています。例えば昆虫教室、朝日地域の文化の伝承の場面ということで文化創造館があるわけですが、そういったものをやるための公益の事業、物販といったもので収益事業といろいろ振り分けてやっていますが、公益事業部分について委託料が発生するのが博物館の仕組みになっています。

グーの場合は、下の階は使用料は無く物販で収益事業になっています。そのような関係でグーができた時に初めて利用料金制度ということで地方自治法が変わった丁度その時でした。それで上の階の部屋の使用料はいいが、下の階は店に来る方から入館料を取ってさらに物を売る訳にはなかなかいかないだろうということで他の類似例も見ながら今の条例になっています。その違いがあるということをもまずご理解をいただきたい。

施設修繕の関係ですが、来年度の予算要求にもこれから3か年指定管理をお願いする訳でございますが、区分けをしながら予算要求をして参りたいと。国税関係での耐用年数を見ますとグーは39年の耐用年数でした。建ててから37年になっています。あと2年間しかないそういった建物ですから、建て替えるとなるといろいろ問題が生じてきますけども、今の建物を長く大事に使うためにも最低限でも空調施設だとか耐震なども合わせていくと、3か年で2,300万円ぐらいの費用が必要かと思っております。優先順位からすると、空調が1番だろうということで来年度予算要求しております。指定管理がはっきりして、4年後には産直組合がグーを舞台に朝日の特産販売に取り組んでいくという姿勢が見えてきましたので、財政当局には説得しやすいという状況です。有利な財源も過疎ソフトだとか電源立地交付金などそういったものを掲げながら施設修繕については取り組んで参りたい。ちなみに解体するといくらか6月に調べましたところ、1,800万円程でした。解体して新たに建てると、あくまでも産直組合が事業主体となって、それに対する補助金は可能かと思っておりますけども、補助金を受けて自分たちの自腹も出して固定資産税、不動産取得税を払いながら建てていくだけの将来的な見込みがあるかという判断に立つと、なかなか全員集会を何度やっても結論がつかない容易ではない状況にいくのではないかという判断の下に、今やらないと無償貸付のときにもっとお金がかかるということにならないようにするためにも、年次的に予算の確保に向けて取り組んで参りたい。そのように思っております。

#### ○市民福祉課長

市民福祉課としては先程も説明しましたように、スッキリ教室やいきいきクラブにぜひ参加していただいて、介護予防の方に力を入れておりますので参加していただきたいと思っております。なかなかふっくらまで来るのが容易でないという方は、地域でのサロンや冬季健康教室も行いますので、保健師の方へ声をかけていただきたいと思っております。先程、説明を間違えました、すみません。市民福祉課の取り組みの1番(1)②の高齢者生活福祉センター運営事業ですけれども、ふっくらと言ってしまいましたが、デイサービスセンターの生活福祉センターで冬期間1人暮らしが容易でない方など利用できる施設もありますので、すぐ特老に入所するほど介護度が高い方は難しいのですが、少し具合が悪くて1人暮らしが心配な方がいらっしゃればこちらに相談していただければと思います。一定期間一時的になりますけども、そういう事業もありますのでよろしく申し上げます。

#### ○総務企画課長

古い学校の起業利用ですけれども、皆様ご存じのとおり学校統合で使わない学校が増えています。朝日も来年から2校になりますし、羽黒も鶴岡の湯田川・田川の辺りもあります。そういったものがいっぱい出てきたものですから、学校の跡地利用会議という会議を年に何回か開催しているの

すが、今すぐ統合になったばかりの学校については、地元のある程度の利用希望がないかということで、何年かかかるかわかりませんが、こういったものに使えるのではないかなというように話をしていきたいと考えています。どうしても将来的に使わないとなれば、企業ですとか全国発信するなりしてどうですかというような形になるのではないかと思います。それでも使えない場合は、いずれは取り壊しということでお金もかかる訳ですけども、そういう順序を踏んでいくと思います。

今現在ですけれども、跡地利用会議がありまして学校を使いたいという情報があります。田川については、今のコミセンの方が古くなったということで学校の方に移りたいと。ただあまりにも大きいものですから1階はコミセンで使って、2階はコミセンの施設ではなく、こういった管理をすらかわからないですけれどもみんなで使えるように、3階については市の文化財、埋蔵文化財などを置くようなそういった区分で考えているようなところもあるようですし、温海は1校ですが福祉法人がそれも一部入るということでした。それも学校全体は面倒をみれないものですから五分の一ぐらいの利用ですとか、駐車場、グラウンドは使わないというような形で各学校の利用についていろいろなやり方が出てきてるようですので、情報ありましたら皆様方に提供していきたいと考えております。

#### ○委員

福祉の課長の話ですが、ふっくらの方に来てくださいと言ってもらうのではなくて、そこに元気でものを出すような人たちを支援するような方策を考えてもらいたいと言ったつもりです。生産している80歳でも、ものを出しているのだからそういう人をいっぱい増やすような予算の使い方をできないかということをお願いしたかった。

#### ○会長

それでは時間も15分程しかないので、皆からご意見一つずつ出していただきたいと思います。質問ではなく、意見でも結構です。何でも。

#### ○委員

朝日地域PTAとしましては、先月の26日に要望という形でおじゃまさせていただきましたので、今日は質問ということで、かたくり温泉ぼんぼの利用者が減っているといった話がありましたが、朝日だけでなくいろいろな温泉施設ある訳ですけども、利用者数はどのようになっているのかというのが一つ気になりました。先日テレビを見ておりましたら、「どよまん」という番組で櫛引のゆータウンが紹介されていたり、そこでおもしろおかしく放送されていたのですが、要するに利用者数が減っていくから無くさなければならぬという話になっていくのだと思うのですが、利用者数をどのように増やしていくかという先程お話ありましたけれども、考えていかなければならないところのかなと思っています。例えばPRできる何かがあればいいのか難しい問題ではあると思いますけれども一つ感じました。このような会議の中で問題点いろいろある訳ですけども、会議の内容、今朝日でこういったことが問題になっているのだというようなことを、我々だけではなくてもう少し下の年代の方たちとも話し合う機会が、すでにあるかわかりませんが、そういった世代間を少し下げて話し合いを持てる場、そういったものがあってもいいのかなと思います。若い人たち本当に素晴らしいアイデアを持っている方たち朝日にもいっぱいいますし、そういった青年の方たちの意見をもっと聴ける場があってもいいのかなと思っておりました。

### ○市民福祉課長

入浴施設ですけれども、具体的な数字は持ってきていないのですが、やはりどこも人口減少がありますし、レジャー・レクリエーションも多様化していきまして、どこの施設も減っています。ゆ〜タウンも実際営業は厳しい状況です。ゆ〜タウン、藤島のぼっぼの湯が厳しいところで、かろうじて羽黒のゆぽかか経営がトントンだというような状態です。今、おっしゃられたように、何か協力できることということで、PTAさんには具体的にはお願いはしていませんが、例えばスポ少の帰りに利用してもらおうとか、練習試合の相手にでもいいですし、もちろん地元の方々でもいいですし、何か利用していただければと思います。もう少し具体的にお願いできればと思いますが、今考えつくのはこのようなことになるのですが、今回わかっていただいただけでもよかったと思いますので、コミでも何かの機会がありましたら話をさせていただければと思います。

### ○総務企画課長

今日のような会議をもっと若い人の意見、アイデアを集めたらどうかということでしたけれども、合併前の旧市町村ごとに「まちづくり塾」という若者のグループがございます。朝日は15名ぐらい集まって前は六十里越街道でトレッキングを企画したり、タキタロウまつりで朝日音頭を踊ったりとか朝日のPR、地域づくりを考えてもらっている団体がございます。前のように青年団があればそういった場で話をすることができたのですが、若い人というところを以て中心とした中で今日のような話を出していきながら、例えば若者のぼんぼ利用ですとか、いろいろなことについて話題提供をして一緒に考えてもらえればと考えているところです。

### ○委員

現在、コミセンの事務局長と山菜菌茸栽培という二足のわらじを履いておりますけれども、多分朝日地域では私の世代が最年少世代であろうかと思っております。先程来、安定した労力と収入を求めて、米づくりでは法人化が進められていて、法人化と一口で言えば簡単でございますが、おいそれとみんなが法人化組織を作れる訳でもなくて、後継者不足というのは本当に重要な難問だと思います。そしてそこにどんな対策があるのかなと考えたときに、やっぱりこれは対策が無くて、自分の子どもをそこに引っ張っていくのかなと思ったり、対策の見えない何というか人材探しというか非常に難しい問題なのではないかなと痛感しております。それからここ近年ですがナメコに虫の被害が本当に甚大な被害が起こっております。聞くところによると岩大の先生で虫の研究について非常に著名な先生がいらっしゃるそうです。私たちも菌屋さんの方にアプローチをかけて何とかならないのかなということを相談も申し上げておりますが、なかなかお返事もなく対策もなく私たち個人の方ではどうにもならない問題なので行政も含めまして虫への対策被害というものをプロジェクトでも作って何とかしてはいただけないのかなとこれはお願いでございます。それからもう1点は小さな拠点づくりとありますが、コミセンの事務局長として南部コミセンを何とか切り盛りしているところなのですが、先程大網小学校に東部コミセンを移しましてそこをモデル地域とするという総務課長からお話がありましたが、じゃあ南部はどうなんだ南部はどうしてくれるんだという心からの叫びでございます。

### ○総務企画課長

大網地域は地域ビジョンを作って下地ができています。集落の話し合い活動ですとか、今までも実際話し合いをして、そういった機運ができていくところです。まずは大網をモデル地区としてやって

みようということになっております。当然、南部につきましてもそういった機運の盛り上がりですとか東部の成果、流れを見ながら研修等もあると思いますので一緒にみていただきながら、将来的には小さな拠点ということで十分取り組めると思いますのでよろしくお願いしたいと考えております。

#### ○産業課長

農業の後継者の関係ですが、いつも感じていること旧朝日村、櫛引でもどこでもずっと感じていたことをより具体的に言われると、かなり厳しい意見なのかもとっと何とかしてくれという悲痛な叫びなのかというように捉えてお話をさせていただきます。確かに大変な問題だと思います。生産者はもちろんですけども、行政も充分感じております。次の世代の者が果たして私の意思を築いてくれるのかという、そういう常に不安を抱えながらのとりわけ農業、山に対すると一緒に生活だと思えます。そちらについてはどうしようもない自然の流れがある訳でございますけれども、行政としては喫緊の問題、それから被害の数が非常に大きな問題、そのことによってさらに被害が拡大しそうな問題というような選別をしながら公共投資をやっている訳でございます。菌茸ナメコの種駒の関係そういったものは朝日地域の重要な特産物でございますので、皆さん方が安心して育てられるようにがんばっていきたくと思います。ナメコの虫の被害についてはとりわけ今年は激しいと伺っていました。国の補助で大網地区を中心に原木の生産について取り組みたいと進めていたのですが、補助の趣旨が違ふとのことで取りやめた経緯がございます。その折に農協の営農販売課長から伺っておりました。農協さんの方でも今いろいろと研究をしておりますので、一時的なものなのかこれが蔓延していくのか、気候に起因するものなのかその辺のことわかり次第ナメコの生産、林地で働いている方々に農協と一緒に情報提供させていただきたいと思えます。

#### ○委員

先程からぼんぼのことが出ていますが、私、実は臨時ですがゴルフ場に努めております。お風呂をやっていないので「ぼんぼ」さんからパンフレットをもらって紹介しています。風呂をやるには利用者が少ないので、それとは関係なく内陸とかちょっと遠いところから来ると「この辺に温泉があるときいてきたのですが」という問い合わせが何件かあったものですから、常時フロントにパンフレットをおいております。その中で一番聞かれるのが食事ができない食堂が無いというものです。大げさな食堂でなくとも簡単な食事ができる、あるいは売店で食べ物類を多く置くとか、何かあればもう少し利用もあるのかなと思っていました。簡単に要点だけ、先程から学校の跡地利用の話が出ていて、後でゆっくり話をしたいのですが、ポートランドというアメリカ西海岸の57万人ぐらいの都市なのだそうです。そこは、1990年代一躍ブームになったそうですが、都市政策の成功例として日本からも大勢押し寄せた、研究者が集まったという場所が、今再び有名になったのだそうです。それは高齢化社会における成功例ということで、街中にいろいろなものがあるのですけれども、その中の1つで古いものを再利用するという、新たに建てるのではなくて、例えば学校が廃校になればその跡に図書館と食堂とプールその3つくらいは独自に営業できる。例えば学校には図書室があつて図書館がそこに移ってくるとか、小学校には厨房設備ある程度ある訳ですから、そこで食堂やカフェをやろうとかそういうふうな利用ができる。さすがアメリカだからプールというのは営業になるのでしょうかからプールもできるということで、そういった再利用で、今、高齢化社会において注目されているということで長くなりましたが以上です。

#### ○委員

婦人の会では今年の花壇の作業は終わりました、きれいに草むしりもできたかなと思っておりますので安心してるところです。婦人の会からは離れますけども、私どもの世帯も高齢者世帯ですけれども、この朝日地域で高齢者世帯と一人暮らし世帯どれぐらいおられますか。それから、これから高齢者世帯雪で雪下ろし作業が入る訳ですけれども65歳70歳2人暮らしで屋根の上に上るということがすごく不安でいっぱいです。とにかく屋根の雪下ろしをしなければ雪が降ってもなんでも苦にならないというただその一言です。雪下ろしに際して高齢者世帯に何かいい方法があったら教えていただきたいと思えます。

#### ○市民福祉課長

高齢者人口ですけれども27年3月末現在で朝日地域の人口が4,488人、その内65歳以上が1,616人で36%、その中でも後期高齢者75歳以上の方が966人で21.5%を占めております。一人暮らし老人世帯については手持ち資料がないので後程お答えしたいと思えます。雪下ろし制度についても補助制度はあったのですがそれも後程お答えさせていただきたいと思えます。

#### ○委員

手元に資料がないのですが、高齢者の非課税世帯の家庭の場合は1回15,000円の補助があります。住んでいる住まいだけで、冬期間そこを離れるとなると補助は出ません。あくまでも中に住んでいてという補助はあります。

#### ○委員

最初にありました過疎地域自立促進計画、全てに言えることかもしれませんが、過疎計画における4つの基本方針というのはこれからもこれを変えないで計画を策定するものとありますけども、今までのものというのは全てに言えるかと思えますが守ることばかりが強調されてきているかなと思えます。守るといって自立品になるのかなと思えます。確かに現状大切である訳ですけれども、やはり攻めというかこれからというか夢のあることもここに掲げたらいいのかなというふうに思えます。例えばどこかで聞いたことがあると思えます。「子育てするなら鶴岡市」というのがありましたし、教育なども非常に大切なことかなと思えます。みんながみんなニュートリノだとか医学だけではなくとも素敵な人材いっぱいいると思えますので、そういう広い意味での考え方に基づく教育ということも重要なかなと思えます。答えはいいりません。

#### ○会長

はい、ありがとうございました。ひととおり皆さんから意見をいただきましたけれども、最後にこれだけはどうしても言っておきたいというものがありましたら時間ももう少し取りたいと思えますけれども。いかがでしょうか。

#### ○委員

先程の虫の話ですが名前わかりますか。「はねかくし」といって7~8年位前からだんだん出てきて、普通は増えたり減ったりするらしいが、この虫はそういうことなく、県の試験場にも4~5年前に名前は教えてもらったがまだ対策はできていないということだった。菌屋はわからなかった。市の方か

ら県の方へもう一度要請してほしい。

○委員

ふくらはぎは第二の心臓とよく聞かれます。どういう理由がおわかりですか。心臓は血液を送り出すだけで、返す方は筋肉で返すのだそうです。その部分で一番筋肉の多いのがふくらはぎ。すなわち歩け歩けというのはそういう理由なのだそうです。ご存じない方にお知らせしようと思いました。健康かどうか測るのに最近かなり有効なのは歩くスピードなのだそうです。スピードが速ければ若いという基準になるということなので、それから見ると日本人は去年の調査で10年ぐらい若返っている、今65歳の人は55歳ぐらいの若返りだと。これから30年後となるとさらに若返るから80歳でも充分働けるという話のメでした。

○委員

今、マイナンバーカードということで、テレビでもニュースでも言われていますけれども、庁舎の方の対応はどうなっていますか。

○市民福祉課長

配るのは国が機関に委託して市からの発送ではありません。10月5日からとされていますけれどもまだ実際配られていないようです。今月中には届くのではないかなと思うのですが。

庁舎では、住所地に送らないでほしいという方、施設入所やDVの関係で困るという方からは事前に申請を受けておまして、申請された所に送るようにしています。届いてからそれはあくまでも番号の通知ですので、身分証明書として使いたい場合は同封されています書類にカードの申請をしていただきますと、免許証を返納しても身分証明書として使えますし、できればカードをお作りいただければと思います。わからない時は市民福祉課で大丈夫です。よろしくお願いします。

○会長

これで意見質問を終わりたいと思います。みなさんから積極的に1時間みっちり意見をだしていただきました。重要な部分がいっぱい含まれておりますので、行政の方からも心の中に充分受け止めていただいてこれからの予算化また事業の施策等の推進について参考にしていただければありがたいと思います。委員の皆様からは進行上、大変なご協力をいただきまして終えることが出来ました。本当にありがとうございました。これを持ちまして協議を終わらせていただきます。

5. その他

○総務企画課長

安達会長ありがとうございました。5番のその他に移りたいと思います。皆様方から何かございましたら。

6. 閉会

○総務企画課長

これを持ちまして本日の朝日地域振興懇談会を終了させていただきます。ありがとうございました。

